
一般財団法人 大成学術財団 第2回 研究成果発表会

日時：2020年10月26日（月） 13：30～17：30

場所：新宿センタービル 52階 大ホールより配信

プログラム

（敬称略）

13：30～13：35	開会挨拶	財団理事長 山内隆司（大成建設 会長）
13：35～15：15	研究発表（5題）	
13：35～13：55	① 室内CO ₂ が知的作業効率とストレスに及ぼす影響 竹村 明久（摂南大学 准教授）	
13：55～14：15	② 分散性津波方程式の高速な新解法の開発 竹中 博士（岡山大学 教授）	
14：15～14：35	③ 漂砂系土砂管理のための統合型モニタリング・予測解析システムの構築 岡辺 拓巳（三重大学 准教授）	
14：35～14：55	④ フロー効果とストック効果を考慮した巨大震災のレジリエンス対策の 被害軽減効果に関するマクロ経済モデルの構築 藤井 聡（京都大学 教授）	
14：55～15：15	⑤ コンパクトシティ計画による市街地集約化事業の維持管理コスト評価手法の構築 瀬戸口 剛（北海道大学 教授）	
15：15～15：25	休憩	
15：25～17：05	研究発表（5題）	
15：25～15：45	⑥ 集合住宅における共有空間の形成手法と分析ツールの開発 乾 久美子（横浜国立大学 教授）	
15：45～16：05	⑦ 機械学習とスパース推定法を利用した地震応答モニタリング記録からの 橋梁のリアルタイム損傷検知 リッパ リッパ デイビッド・マリ（横浜国立大学 特任教員(准教授)）	
16：05～16：25	⑧ 遠隔エネルギーマネジメントのための用途別エネルギー消費パターン認識法の研究 田中 英紀（名古屋大学 教授）	
16：25～16：45	⑨ 温湿度変動下における直交集成板の挙動がCLTパネル構法建物の構造性能に及ぼす影響 中島 史郎（宇都宮大学 教授）	
16：45～17：05	⑩ 画像データを用いた深層学習による天井の被害検出システムの開発 川口 健一（東京大学 教授）	
17：05	講評	財団選考委員長 高田毅士（日本原子力研究開発機構 室長）
	閉会	財団理事 大倉喜彦（中央建物 社長）
17：10～17：30	表彰選考	